

PRESS RELEASE

報道関係者 各位
飼料用米に関する事業者の皆様方 各位
消費者の皆様 各位
行政省庁、学者、研究者、学生 各位

2019年（令和元年）10月2日

一般社団法人 日本飼料用米振興協会

(J-FRA ジャフラ)

東京都中野区弥生町一丁目17番3号 〒164-0013

<http://www.j-fra.or.jp/>
postmaster@j-fra.or.jp

問い合わせ先

理事・事務局長 若狭良治 070-3522-3151 wakasa_ryoji@j-fra.or.jp

理事長 海老澤恵子 070-5543-1448 ebisawa_keiko@j-fra.or.jp

「第4回 コメ政策と飼料用米の今後に関する意見交換会2019」

の開催について

開催要領

開催趣旨

令和元年産の水稻の作付面積は、158万4,000haで前年に比べて8,000ha減少、このうち主食用作付面積は137万9,000haで前年と比べて7,000haの減少となっています。

また、9月15日現在の令和元年産の作況指数は「101」で、全国の10a当たり収量は536kg（前年産に比べ7kg増加）が見込まれています。

この結果、主食用作付面積に10a当たり収量を乗じた収穫量（主食用）は736万9,000t（前年産に比べ4万2,000t増加）が見込まれています。

その中で私共の推進しております飼料用米の近年の動きは、主食用米価格が堅調なことから価格関係で稲作生産者は、水田作付は主食用米へ傾倒する動きがみられ、令和元年産の飼料用米の作付面積は7万2,499haと前年よりさらに9%ほど減少してきております。

このように飼料用米を巡る動きは中だるみ状況にありますが、基本的には国産飼料原料の確保と水田フル活用の側面から当協会としては引き続き飼料用米の普及拡大を掲げて、稲作生産者や利用する畜産生産者の連携と消費者への浸透を目指してまいります。

先般の日米貿易協定の妥結など外部環境の変化もありますので、多くの参加者を得て、有意義な意見交換会を開催したいと考えます。

今回は農林水産省穀物課様と有識者の皆さんから基調講演をいただき、会場の皆様と「コメ政



策と飼料用米の今後に関する意見交換会」を開催します。

とくに有識者の皆さんには今後の日本のコメ政策や飼料用米に関する議論をするに際し、生産、利用、消費、政策の各サイドからご意見を出していただき会場の皆さんと活発な意見交換を行っていきます。

※ 作況については、農林水産省発表資料による。

開催日時：2019年（令和元年）11月13日（水）

13:00（開場） 開会13:30～終了予定16:50

会場：食糧会館 中央区日本橋小伝馬町 15-15 会議室（5階 A/B 会議室）収容人員70名
<http://www.zenbeihan.com/overview/outline.html>（詳細は HP から）

対象：関係官公庁（農林水産省、自治体など）、コメ生産者/流通業者、畜産生産者/流通業者、農業団体、飼料製造/販売業者、物流業者、消費者団体、研究・教育関係者、報道関係者等

主催：一般社団法人 日本飼料用米振興協会

参加費：無料

参加申込み：メールアドレス meeting20191113@j-fra.or.jp へ必要事項を記入の上申込みをお願いします。掲載ホームページ <http://www.j-fra.or.jp/>

【記入事項】

参加希望者の氏名、所属組織名称（報道関係者はその旨を記載してください）
所属部署名称、役職名、メールアドレス、電話番号、要望事項・質問事項

プログラム（案）

◆開会挨拶 J-FRA・海老澤恵子理事長

◆基調講演1

「飼料用米の推進について」

湧上 武士氏 課長補佐：農林水産省／政策統括官付穀物課企画班

◆基調講演2

「飼料用米の位置づけと今後の展開方向：生産、利用、消費、政策の各サイドから考える」

株式会社 農林中金総合研究所 調査第一部 主任研究員 小針 美和

一般社団法人日本飼料用米振興協会 理事 信岡 誠治 農学（博士）

一般社団法人 農業開発研修センター 研究員 山野 薫 博士（農学）

一般財団法人農政調査委員会 専門調査員 小川 真如 博士（人間科学）

◆意見交換会（質疑応答を含む）

◆結語 加藤 好一 副理事長：（生活クラブ事業連合生活協同組合連合会 会長）

（参考資料）「第2回と第3回のコメ政策と飼料用米の今後に関する意見交換会」の当日発表資料は下記のアドレスでダウンロードできます。

http://www.j-fra.or.jp/3rd_rice_feedriceafterthismeeting20181128_all2.pdf

http://www.j-fra.or.jp/2nd_kome_meeting_policyopinion_discussion_20171115wordtext_wit_hout_n_amelist.pdf

基調講演2「飼料用米の位置づけと今後の展開方向：生産、利用、消費、政策の各サイドから考える」講演者の紹介

株式会社 農林中金総合研究所 調査第一部 主任研究員 小針 美和



一般社団法人 日本飼料用米振興協会 理事 信岡 誠治 博士 (農学)
 一般社団法人 農業開発研修センター 研究員 山野 薫 博士(農学)
 一般財団法人 農政調査委員会 調査研究部 専門調査委員 小川 真如 博士 (人間科学)

小針 美和

株式会社 農林中金総合研究所 調査第一部 主任研究員

研究テーマは水田農業政策の制度研究および経済分析。農業政策の推進体制および推進における農協の役割に関する調査研究。農業法人と農協との連携のあり方に関する研究。

主な業績に、「自民党長期政権下における政府買入米価の決定過程」『農業経済研究』(2006)

「主要食糧の管理をめぐる調査・研究動向について」『改革時代の農業政策 最近の政策研究レビュー』農林統計出版 (2009) 他

略歴等 2000年3月東京農業大学農学部農業経済学科卒業、2002年3月東京大学大学院農業生命科学研究科博士前期過程修了。2004年4月株式会社 農林中金総合研究所入社。2009年8月～早稲田大学日米研究機構招聘研究員、2015年4月～(公社)日本農業法人協会 政策提言委員会外部委員

信岡 誠治

一般社団法人 日本飼料用米振興協会 理事 (元東京農業大学教授)、

一般社団法人 日本養鶏協会エグゼクティブアドバイザー 博士 (農学)

専門は農業経営、畜産経営、農産物のマーケティング。飼料用米の生産と利用拡大に向けて、青森県をはじめとして全国各地で講演、飼料米を軸として研究を行う。

略歴等 1952年生まれ。岐阜大学大学院農学研究科修士課程修了、全国農業会議所入所、新聞編集、調査事業に従事。2006～2018年(東京農業大学)。

超多収穫米普及連絡会 運営委員、一般社団法人 日本飼料用米振興協会 理事など歴任。

2018年より一般社団法人 日本養鶏協会エグゼクティブアドバイザー。

山野 薫

一般社団法人 農業開発研修センター 研究員 博士 (農学)

専門は農業経営学、農産物流通・マーケティング論、消費者行動論、協同組合論。

飼料用米を給与して生産した畜産物に対する消費者の意識や評価、飼料用米の生産と農家経営の関係などに詳しい。

主な業績に、論文「飼料米給与鶏卵の商品属性に対する購入者の認識—「社会貢献要素」を中心に—」『農業経営研究』(2017年)、「鉄コーティング直播を利用した飼料米生産の可能性の実証—滋賀県大津市の家族経営農家を事例に—」『農林業問題研究』(2013年)など。

略歴等 1987年大阪府生まれ。

2010年3月 滋賀県立大学環境科学部生物資源管理学科卒業

2017年3月 京都大学大学院農学研究科博士後期課程修了

一般社団法人食品需給研究センター研究員を経て、2019年10月より現職。



滋賀県立大学、神戸女子大学非常勤講師。

小川 真如 修士（農学）、博士（人間科学）、専門社会調査士
一般財団法人農政調査委員会 調査研究部 専門調査員

ほか、非常勤講師として明治学院大学経済学部「経済の先端的問題」「農業政策論」、恵泉女学園大学「生活園芸経済論」、武蔵丘短期大学「食料経済」、千葉県立農業大学校「農業協同組合論」等を担当。

略歴等 1986（昭和61）年島根県益田市に生まれる。東京農工大学農学部卒業。農業共済新聞の全国記者を経て、早稲田大学大学院人間科学研究科博士後期課程、茨城大学、東京女子大学非常勤講師。主な研究テーマは、非主食用米による農地維持・活用に関する農政学・農業経営学による分析であり、主著として『水稻の飼料利用の展開構造』（日本評論社）、最近の論文として「人口減少社会における水田フル活用の展望」（農業農村工学会誌）、「角田重三郎の飼料用米論に対する再評価」（農村計画学会誌）がある。

お問い合わせ先

一般社団法人 日本飼料用米振興協会
運営事務局（理事・事務局長 若狭 良治）
Phone：070-3522-3151
e-Mail：wakasa_ryoji@j-fra.or.jp
事務所：東京都中野区弥生町1丁目17番3号
URL：<http://www.j-fra.or.jp/>
e-Mail：postmaster@j-fra.or.jp

2019年10月2日（水）

予 告（ホームページに掲載しております）

開催日時：2020年3月18日（水） 10:30(開場) 11:00 開会

会 場：東京大学弥生講堂

ホール：表彰式・シンポジウム

ロビー：資料展示 会議室：試食会

第6回（通算13回）飼料用米を活かす日本型循環畜産推進交流会

令和元年度飼料用米多収・飼料用米活用畜産物ブランド日本一表彰式

飼料用米普及のためのシンポジウム2020



参加申込書

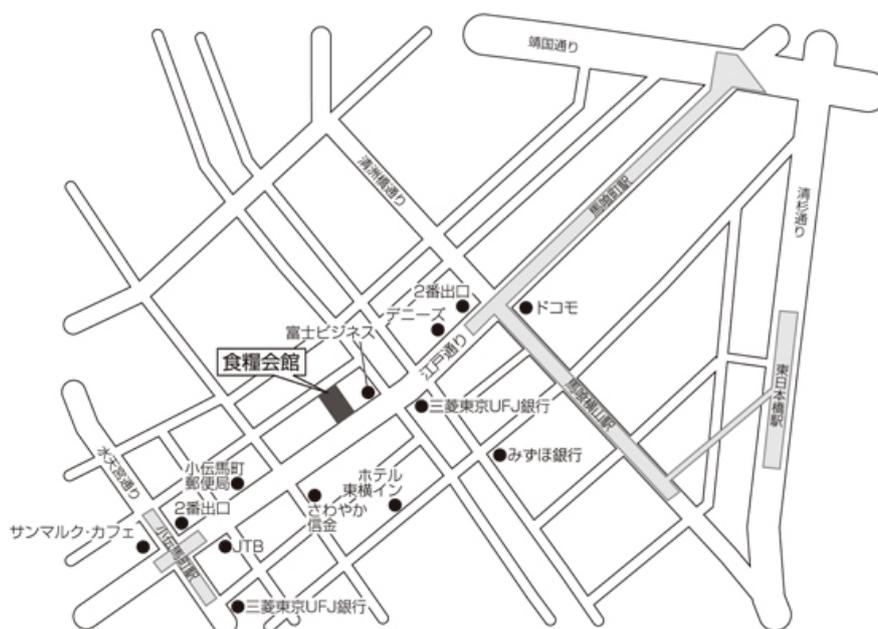
meeting20191113@j-fra.or.jp

FAX 03-3373-8119

記入事項（報道関係者はその旨を記載してください）

参加希望者の氏名#	#
所属組織名称#	#
所属部署名称#	#
役職名#	#
メールアドレス#	#
電話番号#	#
要望事項、質問事項#	#

食糧会館のご案内



#



【電車でお越しの場合】

地下鉄日比谷線 小伝馬町駅 徒歩 4 分
地下鉄都営新宿線 馬喰横山駅 徒歩 5 分
地下鉄都営浅草線 東日本橋駅 徒歩 7 分
JR 総武線快速 馬喰町駅 徒歩 6 分

※ご注意：馬喰横山駅、東日本橋駅を利用される場合の出口は、A2 ではなく、連絡通路により JR 馬喰町駅方面へお進みいただき、2 番の出口から地上へ出ていただくと便利です。

【アクセス】

東京駅－(JR 総武線快速 4 分)→馬喰町駅－(徒歩 5 分)→現地
上野駅－(地下鉄日比谷線 5 分)→小伝馬町駅－(徒歩 4 分)→現地
羽田空港－(京浜急行・地下鉄都営浅草線[相互乗入れ] 31 分)→東日本橋駅－(徒歩 7 分)→現地

※電車・バス等でお越しの際は、各路線の運行状況をお確かめください。

一般社団法人 日本飼料用米振興協会 (J-FRA ジャフラ)

東京都中野区弥生町一丁目 1 7 番 3 号 〒 164-0013

<http://www.j-fra.or.jp/>
postmaster@j-fra.or.jp

理事長	海老澤 恵子 (j-fra 代表理事) (中野区消費者団体連絡会 副会長)
副理事長	加藤 好一 (生活クラブ事業連合生活協同組合連合会 会長)
理事・事務局長	若狭 良治 (NPO 未来舎 副理事長)
理事	木村 友二郎 (木徳神糧株式会社 顧問)
理事	阿部 健太郎 (昭和産業株式会社 飼料畜産部長)
理事	信岡 誠治 (有識者 元東京農業大学農学部畜産学科教授)
監事	岩野 千草 (中野区消団連事務局)

